

永江 亘先生

先生のプロフィール

【出身地】

広島県

【専攻】

商法・会社法・金融商品取引法

【近年(2~3年)の担当科目】

ミドル・アドバンス演習・会社法（法務研究科）

【☆自由質問欄☆】

昨年から地元カープの選手の後援会長を始めました！会長として、全力で応援しております。



1. 先生の研究内容、科目の魅力について

Q.講義時に心掛けていることはありますか？

A.学生さんには会社という存在が身近でないことから、とにかく新鮮な事例を取り入れることに注力しています。また、ロースクールでの講義担当ということで、条文検索と条文操作能力の向上を意識しています。

Q.新入生、初学者に向けて先生の研究内容、科目の魅力について教えて下さい。

A.元々は、中小企業法に興味を持っておりましたが、上場企業が非上場化する取引の研究を開始してから、企業買収全般を研究するようになりました。現在では、資本をどのように分配するのが社会的に望ましいのかという疑問から、非上場会社への出資のあり方について研究しています。なので、法律だけではなく、会計学や経営学、統計学なども学習する必要があります。あって、正直大変です。

Q.今の専門科目に興味を持った理由は何ですか？

A.抽象的な概念が比較的少なく、金銭的な利害がからむ問題が多いため、「ドライ」な部分が多いところに魅力を感じます。倫理・正義といった概念よりも、「効率性」「合理性」が優先され、制度的にも常にコストが意識されているところが「大人の学問」のように感じました。

2. 先生のゼミ、ゼミ生の特徴・特色について

Q.私たちは永江ゼミについて、明るくて元気なゼミだと思っています。先生はどう思っていますか？

A.本学に赴任して7年が経過しましたが、コロナ禍もあり、ゼミのカラーみたいなものはまだ見えてきませんが、比較的自由にやっていただいているのではないかと思います。本学の中でも突出して威厳がない私のキャラクターが重要な一因と思っています(笑)。

Q.私たちは今後このゼミをより活発な議論のできるゼミにしたいと思っています。先生は
どういうゼミにしていきたいですか？

A. 学習面では、引用する文献や引用方法など、「最低限のマナー」については比較的厳しく
見えています。これは、マナーは多くのことを学ぶための入り口ですので、しっかりと身に着
けて頂きたいと考えております。ゼミの運営としては、元気なゼミであっていただけると良
いかと思います。卒業生の皆さんとの交流もあるゼミですので、いろいろなことを吸収して
もらいたいです。

Q.先生が過去に担当していたゼミ（およびゼミ生）の特徴はどうでしたか？

A.様々な属性の進路を選択される方が多く、学者から裁判官・士業・官僚・金融機関・メー
カー・スーパーゼネコン、船のオーナー向け保険組合などニッチな業界にお勤めの方もいらっ
しゃいます。皆さん、学生時代に自分の付加価値を向上させるために、ブラッシュアップし
ておられましたが、そのような努力をされる方は、全体的に「宴会好き」だったように思い
ます…（どうしてだろう？）ゼミ旅行や卒業旅行も行い、海外も含めてアクティブに行動す
るゼミでした。

3. 先生の学生時代の話

Q.先生が勉強以外でも力を入れていたことは何ですか？

A.反社会的なメッセージを含む稚拙なバンドをやっていました(笑)。いろんな大学学園祭を
巡ったり、遠征に行ったりしました。日本の商法界では一番ドラムが叩けるのではないかと
勝手に思っています(笑)。

Q.先生が学生時代に失敗したいことや後悔していることはありますか？

A.学部時代の学習量はもっと増やせたのではないかと思います。とりわけ、(どの科目とい
いませんが)嫌いな科目はどうしても敬遠してしまいがちでした。また、学習以外の面では、
イチロー選手やロナウジーニョ選手など、その時しか見られない人たちの素晴らしいパフ
ォーマンスは、その時に無理をしてでも見に行く方が良かったと後悔をしています。

アドバンスト 永江 ゼミの実態！（2023 年度ゼミ生 13 名）

永江先生のトリセツ

学生のお話をよく聞いて下さる
多岐にわたって話題が豊富
国内外の様々な場所に理解が深い
美味しい料理店を沢山知っている
お酒大好き

【日々の準備、課題】

個人でのプレゼンのためのレジュメの準備や、次の授業
で発表する人の分野について予習しておくこと。

【長期休暇課題】

発表のための準備、情報収集

個人での発表を通して、正しく情報収集をする
力、わかりやすくプレゼンする力が身につつま
す。また、ゼミでは主体性が重要とされるの
で、積極的に発言する力を養うことができま
す。